

コーディングマニュアル(タイ文字資料に関する抜粋集)

(平成 18 年 3 月 31 日版, 平成 18 年 6 月より適用)

1. 目録用言語

1.1.1B 【目録用言語】

タイ文字資料においては、目録用言語として英語を用いる。ただし、必要に応じて、目録対象資料の本文の言語を目録用言語として使用できる。

2. 転記の原則

タイ文字資料においては、転記の原則に従い、原則として、記述対象資料に表示されているままの字体等を使用する。

3. 図書書誌レコード

3.1 タイトルおよび責任表示 TR

(ヨミ)

タイ文字資料の書誌レコードにおいては、タイトルの原綴の分かち書きを、TRRに記録する。分かち書きの単位は単語単位とする

(その他のヨミ)

タイ文字資料においては、タイトルのALA-LC翻字形を、その他のヨミとしてTRVRフィールドに記録する。

3.2 その他のタイトル VT

(ヨミ)

タイ文字資料においては、その他のタイトルの原綴の分かち書きを、VTRに記録する。分かち書きの単位は単語単位とする。

(その他のヨミ)

タイ文字資料においては、その他のタイトルのALA-LC 翻字形を、その他のヨミとしてVTVRフィールドに記録する。

3.3 内容注記 CW

(ヨミ)

タイ文字資料においては、内容注記の原綴の分かち書きを、CWRに記録する。分かち書きの単位は単語単位とする。

(その他のヨミ)

タイ文字資料においては、内容注記のALA-LC 翻字形を、その他のヨミとしてCWRフィールドに記録する。

4. 著者名典拠レコード(個人名)

4.1 標目形 HDNG

ALA-LC翻字形を標目形とする。タイ文字による表記は、必要に応じて参照形としてSFフィールドに記録する。

4.2 を見よ参照 SF

タイ文字による参照形を記録する。

5. 著者名典拠レコード(団体名)

5.1 標目形 HDNG

ALA-LC翻字形を標目形とする。タイ文字による表記は、必要に応じて参照形としてSFフィールドに記録する。

5.2 を見よ参照 SF

タイ文字による参照形を記録する。

6. 統一書名典拠レコード

6.1 標目形 HDNG

ALA-LC翻字形を標目形とする。タイ文字による表記は、必要に応じて参照形としてSFフィールドに記録する。

6.2 を見よ参照 SF

タイ文字による参照形を記録する。

以上